

# 芝浦工業大学 交換留学プログラム 参加後アンケート

海外派遣プログラムに参加したみなさまに、海外での経験を今後の学生に共有していただくため下記アンケートの記載をお願いしています。  
記載いただいた内容は、芝浦工業大学のWebサイトやパンフレットに掲載いただくことがありますので、その前提でご記入をお願いします。  
「留学するかどうか、もしくは留学先をどこにするか等、判断を迷っている後輩向け」という視点で記入をお願いいたします。

## 留学者情報

学部	理工学研究科
学科(コース等)	建築学専攻
学年(渡航開始時)	修士一年
ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

## 留学先情報

渡航型/オンライン型	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航型 <input type="checkbox"/> オンライン型
プログラムタイプ	<input type="checkbox"/> 授業履修型 <input checked="" type="checkbox"/> 研究室配属型
国・地域名	オーストリア
都市名	ウィーン
留学先大学名	ウィーン工科大学
留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input type="checkbox"/> 3ヶ月～半年(1セメスター程度) <input checked="" type="checkbox"/> 半年～1年(2セメスター程度)
プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2021年9月 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2022/7/1
留学時期 (主に留学をしていた時期にチェック をお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input checked="" type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
上記協定校を志願した理由を教えてください。	①協定校の中で区的首都にあり、文化が栄えている都市で、自分にとっての理想な街とは何か？ を明らかにできそうと考えたため。 ②もともとゼミ活動で、ウィーン工科大学のGPBLに参加しており、コロナ禍で色んなことが不安定 の中でつながりがあって安心できるから。
(研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探 したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)	研究室の教授が、ウィーン工科大学の教授とつながりがあり、紹介してもらった。

## 留学中の学籍について

休学の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 休学をした <input type="checkbox"/> 休学しなかった
休学せずに渡航した方は、休学せず に渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科 目が渡航時期になく単位も十分に取 り終えており、かつ指導教員の許可 も得られ、就活前に帰国することが できたため、等)	

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

授業ではサステイナブル・ウォーカーな都市作りについて学んだ。研究は、ウィーンの歩車共存空間の街路を対象に、様々な実測を行い、今後日本の街路と比較して、歩車共存空間のあり方について明らかにしていく予定だ。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Everyday Life, Difference and Intersectionality in Urban Studies	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	ギリシャのテッサロニキ・アリストテレス大学で開催される「公共性の研究」(Researching Publicness)のに参加し、同僚や学生たちと共同で、住宅と公共の交差点を調査する集中ワークショップです。私たちは、日々の都市環境を形成する、複雑で不安定で厄介な都市の実践と生活経験を探求することを目指します。私的なものと公的なもの(地理、空間、生活、経験など)の間に確立された二項対立を考察し、既存の境界と二項対立を批判する視点を発展させる。		

科目名②	Right to the City and Spatial Planning: Focus 'Aging Society'	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	年齢に関する話題は、ここ数十年の間にますます注目されるようになり、コロナの大流行という文脈で再び前面に出てきた。一方で、高齢者や超高齢者の絶対数の増加や人口の相対的な割合が注目されていることに気づかされる。その一方で、メディアの論調、政治、学術における年齢関連の問題は、例えば、高齢化社会の明らかな脅威、「引退社会」の出現、それに伴う「介護危機」など、否定的なシナリオに支配されることが非常に多い。理想的な「アクティブエイジャー」から、特別な保護とケアを必要とする脆弱で壊れやすい超高齢者まで、さまざまな年齢のステレオタイプや高齢化のイメージが公共の言説を形成している。それに関連する価値観や規範は、個人、社会集団、組織の方向性を示すものとして機能している。		

このような背景から、都市行政や計画、建築、都市開発の分野の専門家は、こうした人口動態の変化に対応するため、「高齢者に優しい都市」(WHO 2007)をめぐる問題にますます直面するようになっていく。特に、都市における年齢に応じた生活環境のデザイン、住宅、社会基盤、公共空間の提供やアクセスに関する問題が深刻化している。本講座では、「高齢化社会」や「高齢者に優しい都市」をめぐる議論を探求し、住宅と公共空間の接点にある高齢者の日常生活における「隠れた年齢の地理」(スキナーら2015)を探っていきます。ここでの焦点は、ウィーンにおける高齢者の日常的な実践や生き方、視点や経験がどのように見えるかを探り、理解し、それが都市開発や関連する問題に対してどのような意味を持つかを問うことである。そのために、高齢者の知識の関連性を強調する高齢化研究の文献や研究に取り組み、「現場」での高齢期を生きるための条件を詳しく見ていく。様々な質的手法を適用することで、これまでの計画実践や研究において考慮されないままであることが多い、高齢者の都市の日常的な知識や実践を可視化・具体化することが目的である。

科目名③	280.812 Sustainable urban development (SE 2.0) 2022S	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	都市や都市地域は、持続可能な開発に関する課題にますます直面するようになっていく。これをどのように理解し、実行に移すことができるのでしょうか。このセミナーの目的は、持続可能性と都市計画に関するトピックを調査し、この問題に対する認識を高めることである。		

## 留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

エラスムスのイベントや声をかけてくれた人の誘いは、行くまでは面倒くさいな～と思う時が多々ありますが、行ったあとは楽しかった！となり、行って良かったとなるため、「迷ったらいく」姿勢で行くのがいいと思います。  
留学先に到着してから1ヶ月の間は、何事も非日常感に溢れていますが1ヶ月あたりを過ぎると日常になり、家にいる時間が増えてきて、「せっかく留学に来ているのに、なんで家にいるんだろ？」という感覚に陥ったので、その時に他の都市に旅行したり、自分でwien eventと調べて、足を運んだりと外に出る機会を作った方がいいと感じました。

## 自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。  
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

### 【留学計画】

もともと研究にはそこまで焦点を当てていなかった。世界一住みやすい街とも言われるウィーン生活やその他の欧州都市の旅行や市民との会話を通じて、これからの日本の都市に必要なものはなんなのか？を明らかにするのが第一の目的だった。そして留学を通して、自分の中にある程度の指標ができた気がする。

### 【新たな発見】

・ウィーンには主に東側からの移民が多く、欧州全体で移民による治安問題などがあるが、ウィーンはそこでもかなり治安が良い。その理由として誰でも中心市街地に安く住めるアフォーダブル住宅や、街中のストリートパフォーマンスやコンサートで興奮を市民と共有したり、多様な食文化があるといった「人の心の余裕や緩やかな繋がりと、それらを生み出す都市デザインや機会の多さ」が大きく関係していることを発見した。

・欧州人となかなかうまく良い関係が気づけなかった時期があった。理由は、語学力はもちろん、それ以上に自分の会話力が欠けていることだとだった。そこまで深く考える必要はないかもしれないが、その国の歴史や文化を事前にリサーチしておくと話が膨らんだり、深い話ができて友人になりやすいと感じた。

### 【留学前に準備した方がいいこと】

英語力をできるだけ上達させることに尽きると思う。日本人以外の友人をどれだけ作れるかが、留学生生活を大きく左右するから。(日本人と交流することも物事を違う視点で捉えるいい機会となるため、もちろん重要)

## 留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

メールで必要な作業を教えてもらったので、ウィーン工科大学の出願は一つ苦労はなかったです。  
強いというなら、出願後の学生寮を決める際の国際送金のやり方が全然わからず、放置していたら支払い期限が切れて、調整するのが少し面倒でした。

- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)  
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

私の場合は、途中で留学を延期することにしたので、日本から戸籍謄本を送ってもらうなど、かなり時間がかかり面倒な思いをしました。特に「無犯罪証明」がウィーンに届くまで2ヶ月ほどかかり、結局全ての書類が揃って申請する頃には、シェンゲン期限の残りの滞在期間が20日を切っていたので、一度シェンゲン外に出て、再度オーストリアに入国するはめになりました。  
なので、面倒ですが何事も事前に計画をたてて準備することを薦めます。

- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

欧州ではメールのやり取りが特に遅いため、できるなら電話をする。厳しいなら英語ではなく、その国の母国語でメールを送る＆何回も催促の方がいいです。相手に迷惑がかかるという考えは捨て、人は迷惑をかけて互いに生きているという感覚で、がめつく行動したほうがいいです。

## 滞在先の宿泊施設などの情報 (渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- 宿泊先のタイプを教えてください。(協定校の寮、一般のアパート、ホームステイ等)

学生寮

- 上記宿泊先はどうやって手配しましたか？(出願時に協定校に依頼することができた、協定校から紹介してもらった、自分で探した、等)

協定校から紹介してもらった。

- 現地空港到着後、どうやって上記宿泊先に向かいましたか？  
交通手段や所要時間を教えてください。

ウィーン空港から電車でHauptbahnhofへ(中央駅) 25分→トラムで自宅まで20分

- 上記宿泊先から日々協定校へはどうやって通学していましたか？交通手段や所要時間を教えてください。

トラム→トラム、トラム→地下鉄、トラム→徒歩。その日の気分やデモでトラムが稼働していない時は地下鉄を利用していた。

- 上記宿泊先の様子を教えてください。広さ、住み心地等。

ロフトやバルコニーが運よくついており、天井も高く良かったです。冬もセントラル空調で寮全体が20℃ぐらいに調整されていて、大変快適でした。  
一方、6月～9月は気温が上昇し、日本みたいにジメジメしていないものの、暑い時がありました。

留学中の費用や奨学金等（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

概算で結構ですので、参考までに記入してください。

初期費用

内訳	金額(円換算概算)	概要
協定校へ支払った費用 (授業料、初期登録費用等あれば)	¥5,500	セメスター受講料×2
往復航空券代(往復)	¥150,000	片道ずつ予約し、帰国便は1ヶ月前に予約したのでとても高くなってしまう。
海外旅行保険・危機管理費用 (全期間分)	¥100,000	芝浦+EUの保険(ビザ取得の為に)
その他費用(ビザ申請、パスポート取得費等、英語試験受験料等)	¥40,000	ビザ180€、経済証明書翻訳80€、日本大使館の出生証明書20€、パスポート写真15€
計	¥295,500	

1ヶ月あたり費用

内訳	月額金額	概要
宿泊費/月	¥58,500	432€(ウィーンなら、普通ぐらいの値段。水道代、光熱費、Wi-Fi全て込み)
食費/月	¥13,500	90€(毎週土日外食15€+毎日自炊1回2€+その他の食パンなどの雑費10€)
その他/月	¥40,000	旅行。1泊1万計算、月1~2回程度。
計	¥112,000	

奨学金情報

奨学金名	月額金額	概要
芝浦工業大学海外留学奨学金	¥80,000	
計	¥80,000	

写真共有のお願い（渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。）

留学中の様子が分かる写真を4枚ほど共有ください。またそれぞれの写真に説明分を加えて下さい。  
写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

大学のシンボルとなる建物の写真等をお願いします



説明文

立派な建物に加えて、大学の周辺が子供で溢れてフットサルやバスケットができる公園や荘厳な教会、スケボーをする人など、日本の大学キャンパスとは異なり、多種多様な人に開かれた素敵な空間でした。

宿泊先の様子が分かる写真等をお願いします



説明文

フロアで共有しているキッチンで、eurovision2022（日本でいう紅白歌合戦的なもの）。住民はオーストリア周辺が多かったです。

その他、任意の写真



説明文

ウィーンの城壁後にできた並木の環状線でマラソンやLGBTのパレード。ウィーンは常に何かしらのイベントが行われており、無料で参加できるため、多様な考えをしり、友人の交流を深める機会がたくさんありました。

その他、任意の写真



説明文

ウィーン市庁舎前のクリスマスマーケット。多くの人で賑わっていて、とても美しい風景でした。